

病院機構ニュース

2013/02
第1巻第2号

訂正版



この号の内容

- 1 平成24年度中間決算
 - ・平成23年度との比較
- 2 セグメント情報
- 3 運営情報
 - ・平成23年度評価結果
 - ・第2期中期計画
- 4 CSR
- 5 お知らせ
 - ・経営研修
 - ・採用情報

平成24年度中間決算 損益計算書

(単位:万円)	
営業収益	470,101
営業費用	464,467
営業損益	5,634
営業外収益	12,465
営業外費用	19,680
純損益	△1,581

(参考)

平成23年度中間決算 損益計算書

(単位:万円)	
営業収益	464,315
営業費用	448,125
営業損益	16,190
営業外収益	12,702
営業外費用	21,639
純損益	7,253

平成24年度中間決算について (法人全体)

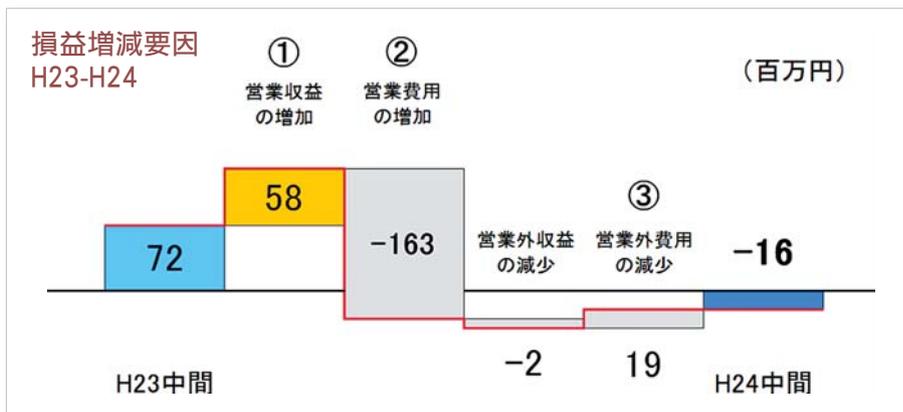
平成24年度の間接決算は、営業損益が5,600万円で昨年度中間決算の1億6,200万円から1億600万円の減益となり、営業外の損益を加えた純損益は、1,600万円の赤字となりました。

平成23年度との比較

- ① 営業収益は、入院患者数の増、診療単価の増などで医業収益が増加したことにより、5,800万円増加しました。
- ② 営業費用は、給与費を始めとする費用全般が増加したことにより、1億6,300万円増加しました。
- ③ 営業外費用は支払利息の減少などで1,900万円減少しました。

この結果、平成23年度の間接決算と比較して、純損益が8,800万円ほど悪化しました。

(※一部前年度と異なる要素を含むため、完全な比較はできない)



医業収益、医業費用の中間比較



セグメント情報

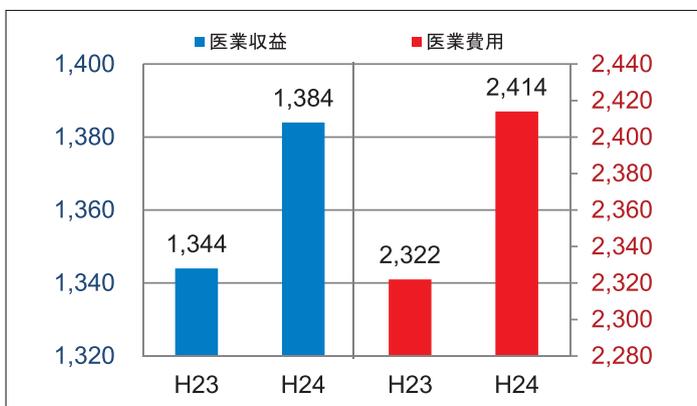
脳血管研究センター

平成24年度中間決算における損益は、右図のとおり1億2,500万円の利益を計上しました。

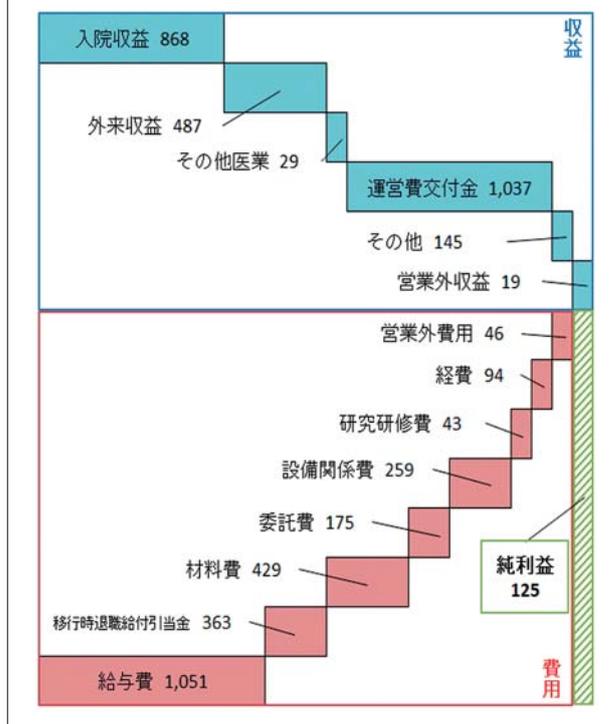
(平成23年度の中間決算における損益は、2億5,500万円の利益計上)

医業収益は前年度を4,000万円上回るものの、医業費用が9,200万円増加したことから、前年度と比較して損益は悪化しています。

「医業収益、医業費用の前年度比較」



中間決算損益計算内訳 (百万円)



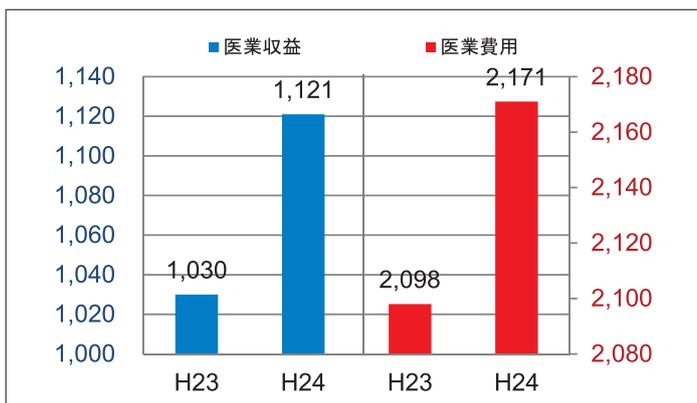
リハビリテーション・精神医療センター

平成24年度中間決算における損益は、右図のとおり9,200万円の損失を計上しました。

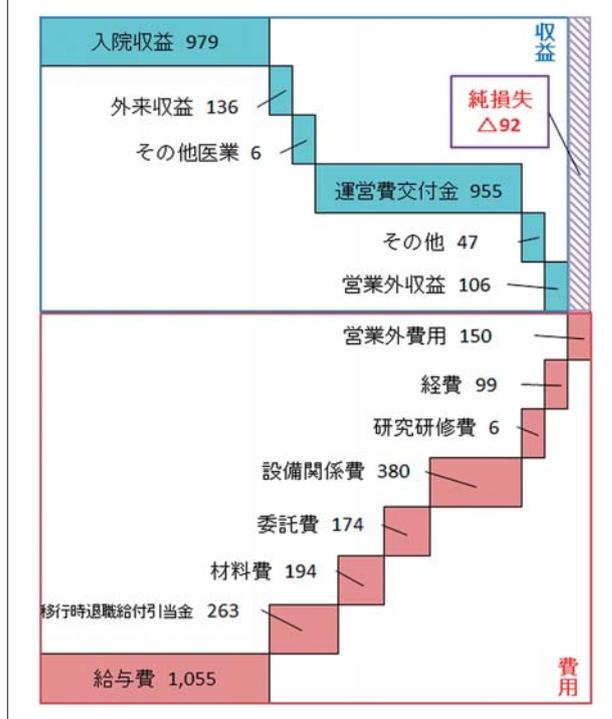
(平成23年度の中間決算における損益は、1億3,200万円の損失計上)

医業収益は前年度を9,100万円上回り、医業費用が7,300万円増加したことから、前年度と比較して損益は好転しています。

「医業収益、医業費用の前年度比較」



中間決算損益計算内訳 (百万円)



運営情報



平成23年度の業務実績について、各専門分野の有識者からなる秋田県地方独立行政法人評価委員会による評価が行われました。

平成 22 年度との比較 (変更のあった項目)

医療に関する調査及び研究

A→S UP



医療に関する地域への貢献
(地域リハビリ検診)

B→A UP



予算、収支計画、資金計画

A→B DOWN



評価結果の詳細はこちら



第 1 期中期計画はこちら

平成23年度評価結果

「事業実施状況は、全体として計画どおり」

- 脳研の急性期医療の取組が評価されました。
県のドクターヘリ導入に伴い第三次医療機関としての機能充実が期待されています。
- 医療従事者確保への積極的な取組が評価されました。
専門医や指定医、認定看護師資格取得の成果が期待されています。
- 両センターとも病床利用率が依然として目標を達成しておらず、目標達成に向けた一層の取組が望まれています。
脳研における病院機能評価の早期受審が課題とされています。
- 脳研における活発な調査研究活動は極めて高く評価され、大規模共同プロジェクトへの取組が期待されています。
- 県内医療機関への定期的な医師派遣に関し引き続き積極的な取組が期待されています。
地域リハビリ検診の対象施設拡大に向けた一層の取組が望まれています。

「財務状況は、全体として概ね計画どおり」

- 病床利用率の向上、脳ドック等の件数増加による収入の確保が引き続きの課題とされています。
- 費用節減のため、費用が大幅に増加した項目についての原因把握・対応が求められています。

「法人のマネジメントは、全体として計画どおり」

- 両センターにおいて整備した新たな組織が機能することによる医療サービスの向上が期待されています。

第 2 期中期計画策定準備開始

中期計画とは、当法人の設立団体である秋田県から与えられた中期目標を達成するために、法人自らが作成する計画です。

第 1 期中期目標期間は平成21年度から平成25年度までの 5 年間で、中期目標期間終了後に業務の実績の全体について総合的な評価が行われます。

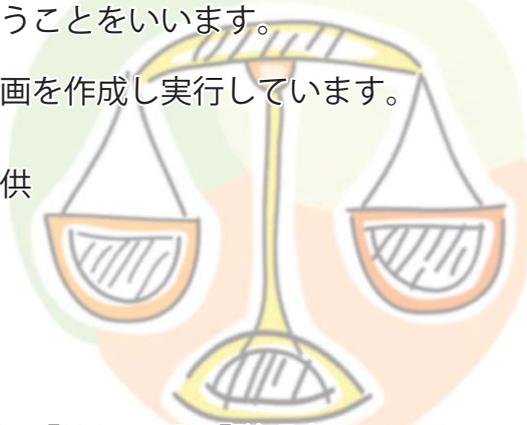
平成26年度から始まる第2期中期目標期間に向けて、次期中期計画の検討に着手しています。

CSR (corporate social responsibility)

一般にCSR：企業の社会的責任と呼ばれるものがありますが、企業活動において経済的な側面だけでなく、全ての関係者に対し社会的な責務を負うことをいいます。

当法人の場合は、その果たすべき役割について、中期計画を作成し実行しています。

- 質の高い医療の提供
- 県民、患者・家族の視点に立った医療サービスの提供
- より安心して信頼される医療の提供
- 医療に関する調査及び研究
- 医療に関する地域への貢献
- 災害時における医療救護等



中でも社会的責任としてよく挙げられるのは、「法令遵守」「情報公開」「説明責任」です。

中期計画の中では、「より安心して信頼される医療の提供」の項に次のとおり定めています。

- 県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守する。
- カルテ等の個人の診療情報の適正な管理及び適切な開示を行う。
- 経営状況の公表により病院機構の運営の透明性を図る。

そして、これらの組織活動について、適切に説明責任を果たしていくことが重要です。

お知らせ

「経営戦略セミナー～人材管理のあり方～」

「採用情報」平成25年4月1日採用予定者

➤ テーマ

- 経営・組織の原理原則
- 病院人材管理のポイント

➤ 日時

- 脳研講堂 平成25年2月21日(木)
18:00から19:00まで 1時間程度
- リハセン講堂 平成25年3月4日(月)
17:30から18:30まで 1時間程度

➤ 対象職員

- 管理監督者（技師長、師長以上）
- 事務部職員
- 受講指定を受けた職員
- 受講を希望する職員

申込は不要ですので、気軽に参加してください。

➤ 講師

株式会社日本経営 課長 江畑 直樹

多数のご参加をお待ちしております。

若年・新卒	配属	合格者数
看護師（副部長予定者）	脳研	1
看護師（ICN）	脳研	1
看護師	脳研	12
	リハセン	5
薬剤師	脳研	2
診療放射線技師	脳研	1
臨床工学技士	脳研	1
理学療法士	リハセン	2
作業療法士	脳研	3
	リハセン	3
言語聴覚士	リハセン	2
臨床心理士	脳研	1
医療相談員	リハセン	3
事務職	脳研	2
	リハセン	2
計		41

※H25.2.8現在

【発行：本部事務局】[010-0874][秋田市千秋久保田町 6-10]
 電話番号:[018-833-0115] FAX 番号:[018-834-0733]
 電子メール:[info@akita-hos.or.jp]